

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成25年2月13日

【四半期会計期間】 第66期第3四半期(自平成24年10月1日至平成24年12月31日)

【会社名】 株式会社サンテック

【英訳名】 Sanyo Engineering & Construction Inc.

【代表者の役職氏名】 取締役社長 八幡 欣也

【本店の所在の場所】 東京都千代田区二番町3番地13

【電話番号】 (03)3265 - 6181(大代表)

【事務連絡者氏名】 管理部長 船戸 文英

【最寄りの連絡場所】 東京都千代田区二番町3番地13

【電話番号】 (03)3265 - 6181(大代表)

【事務連絡者氏名】 管理部長 船戸 文英

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

株式会社サンテック広島支社  
(広島市中区大手町五丁目3番18号)

株式会社サンテック大阪支社  
(大阪市北区中津一丁目7番8号)

(注) 株式会社サンテック広島支社及び大阪支社は、法定の縦覧場所ではありませんが、投資家の便宜のため縦覧に供する場所としております。

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第65期 第3四半期 連結累計期間		第66期 第3四半期 連結累計期間		第65期	
		自 至	平成23年4月1日 平成23年12月31日	自 至	平成24年4月1日 平成24年12月31日	自 至	平成23年4月1日 平成24年3月31日
売上高	(千円)		18,919,152		21,374,957		29,846,101
経常利益又は経常損失( )	(千円)		478,375		246,838		315,996
四半期純利益又は 四半期(当期)純損失( )	(千円)		232,177		118,986		784,835
四半期包括利益又は包括利益	(千円)		519,188		402,510		864,238
純資産額	(千円)		27,559,905		27,402,593		27,214,377
総資産額	(千円)		34,910,579		37,761,533		38,384,455
1株当たり四半期純利益金額又は 四半期(当期)純損失金額( )	(円)		10.84		5.56		36.64
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)						
自己資本比率	(%)		78.9		72.6		70.9

回次		第65期 第3四半期 連結会計期間		第66期 第3四半期 連結会計期間	
		自 至	平成23年10月1日 平成23年12月31日	自 至	平成24年10月1日 平成24年12月31日
1株当たり四半期純利益金額	(円)		6.97		18.14

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

#### (1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興関連需要などを背景として、景気の動きは緩やかながらも回復の兆しが見えてまいりました。海外経済におきましては、欧州の債務危機問題の長期化や中国など新興国における経済成長の減速により、景況感是不透明な状況にありました。

建設業界におきましては、復興関連需要のもとで公共事業予算の増加などを背景として、業界全体としての受注高は前年同期を上回る水準で推移いたしましたものの、業者間の受注競争の緩和には至らず、経営環境は依然として厳しいものとなりました。

このような経営環境のもと、当社グループは営業力の強化を重点課題として、提案営業や新規顧客先開拓など積極的な営業活動を展開してまいりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、受注高261億72百万円（前年同四半期比30.3%増）、売上高213億74百万円（前年同四半期比13.0%増）となりました。収益面では工事採算の低下により営業損失4億41百万円（前年同四半期は、営業損失3億62百万円）となりましたが、為替差益3億57百万円の影響もあり経常利益2億46百万円（前年同四半期は、経常損失4億78百万円）、四半期純利益1億18百万円（前年同四半期は、四半期純損失2億32百万円）を計上する結果となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

（日本）

当第3四半期連結累計期間の売上高は121億32百万円（前年同四半期比6.6%増）となり、営業利益は2億59百万円（前年同四半期は、営業損失32百万円）となりました。

（東南アジア）

当第3四半期連結累計期間の売上高は74億84百万円（前年同四半期比20.8%増）となり、営業利益は42百万円（前年同四半期は、営業利益2億83百万円）となりました。

（その他アジア）

当第3四半期連結累計期間の売上高は18億1百万円（前年同四半期比34.1%増）となり、営業損失は7百万円（前年同四半期は、営業利益33百万円）となりました。

なお、「第2 事業の状況」における各事項の記載については、消費税等抜きの金額で表示しております。

(2) 財政状態の分析

当第3四半期連結会計期間末の総資産合計は、前連結会計年度末に比べ6億22百万円減少し、377億61百万円となりました。主な要因は、現金預金16億19百万円の増加に対し、受取手形・完成工事未収入金等29億94百万円の減少などによるものです。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ8億11百万円減少し、103億58百万円となりました。主な要因は、未成工事受入金19億83百万円の増加に対し、支払手形・工事未払金等21億90百万円の減少などによるものです。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ1億88百万円増加し、274億2百万円となりました。主な要因は、利益剰余金95百万円の減少に対し、その他有価証券評価差額金2億67百万円の増加などによるものです。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	80,000,000
計	80,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成24年12月31日)	提出日現在発行数(株) (平成25年2月13日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	23,805,000	23,805,000	東京証券取引所 (市場第二部)	権利内容に何ら限定のない 当社における標準となる株 式であり、単元株式数は、 1,000株であります。
計	23,805,000	23,805,000		

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成24年10月1日～ 平成24年12月31日		23,805,000		1,190,250		2,007,002

##### (6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成24年12月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 2,389,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式 21,162,000	21,162	
単元未満株式	普通株式 254,000		
発行済株式総数	23,805,000		
総株主の議決権		21,162	

(注) 1 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式が874株含まれております。

2 当第3四半期会計期間末日現在の「発行済株式」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成24年9月30日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【自己株式等】

平成24年12月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社サンテック	東京都千代田区二番町 3番地13	2,389,000		2,389,000	10.03
計		2,389,000		2,389,000	10.03

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に準拠して作成し、「建設業法施行規則」(昭和24年建設省令第14号)に準じて記載しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(平成24年10月1日から平成24年12月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成24年4月1日から平成24年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、東邦監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金預金	10,236,633	11,855,745
受取手形・完成工事未収入金等	12,693,573	9,698,756
有価証券	1,299,776	1,299,706
未成工事支出金	546,874	1,994,778
繰延税金資産	160,303	124,276
その他	2,307,722	1,169,715
貸倒引当金	1,448,680	1,438,690
流動資産合計	25,796,201	24,704,288
固定資産		
有形固定資産		
土地	3,788,016	3,787,562
その他(純額)	1,758,105	1,805,853
有形固定資産合計	5,546,122	5,593,415
無形固定資産	86,939	76,792
投資その他の資産		
投資有価証券	2,851,167	3,298,353
投資不動産(純額)	3,627,218	3,599,875
その他	744,805	768,808
貸倒引当金	268,000	280,000
投資その他の資産合計	6,955,191	7,387,037
固定資産合計	12,588,253	13,057,245
資産合計	38,384,455	37,761,533
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	7,875,526	5,685,471
短期借入金	257,907	4,284
未払法人税等	75,841	59,267
未成工事受入金	880,675	2,864,330
完成工事補償引当金	15,000	15,000
工事損失引当金	165,310	153,312
その他	1,154,358	719,451
流動負債合計	10,424,620	9,501,116
固定負債		
繰延税金負債	85,308	229,107
退職給付引当金	-	20,878
役員退職慰労引当金	301,168	263,270
その他	358,980	344,566
固定負債合計	745,457	857,823
負債合計	11,170,078	10,358,939

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,190,250	1,190,250
資本剰余金	2,007,002	2,007,002
利益剰余金	24,955,239	24,859,956
自己株式	950,947	950,972
株主資本合計	27,201,543	27,106,236
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	61,604	328,725
為替換算調整勘定	48,770	32,367
その他の包括利益累計額合計	12,833	296,357
純資産合計	27,214,377	27,402,593
負債純資産合計	38,384,455	37,761,533

## (2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	18,919,152	21,374,957
売上原価	16,988,978	19,494,038
売上総利益	1,930,173	1,880,918
販売費及び一般管理費	2,292,506	2,322,912
営業損失( )	362,333	441,994
営業外収益		
受取利息	17,139	16,105
受取配当金	42,537	39,685
受取地代家賃	266,657	263,690
為替差益	-	357,172
持分法による投資利益	17,816	14,414
その他	113,687	140,280
営業外収益合計	457,838	831,349
営業外費用		
支払利息	13,978	9,987
不動産賃貸費用	79,866	80,391
為替差損	425,444	-
その他	54,590	52,136
営業外費用合計	573,879	142,515
経常利益又は経常損失( )	478,375	246,838
特別利益		
固定資産売却益	79	5,569
その他	148	-
特別利益合計	227	5,569
特別損失		
固定資産除却損	889	4,812
ゴルフ会員権評価損	-	12,515
その他	5,094	2,031
特別損失合計	5,983	19,359
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失( )	484,130	233,049
法人税等	251,952	114,063
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失( )	232,177	118,986
少数株主利益	-	-
四半期純利益又は四半期純損失( )	232,177	118,986

【四半期連結包括利益計算書】  
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失( )	232,177	118,986
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	236,356	267,121
為替換算調整勘定	50,653	16,402
その他の包括利益合計	287,010	283,524
四半期包括利益	519,188	402,510
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	519,188	402,510
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

【会計方針の変更等】

当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更) 当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。 これによる影響額は軽微であります。

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
減価償却費	213,790千円	187,883千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月28日 定時株主総会	普通株式	214,193	10	平成23年3月31日	平成23年6月29日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの  
該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月27日 定時株主総会	普通株式	214,152	10	平成24年3月31日	平成24年6月28日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの  
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額(注)2
	日本	東南アジア	その他アジア	計		
売上高						
外部顧客への売上高	11,379,835	6,195,199	1,344,117	18,919,152		18,919,152
セグメント間の内部 売上高又は振替高						
計	11,379,835	6,195,199	1,344,117	18,919,152		18,919,152
セグメント利益又は 損失( )	32,194	283,691	33,515	285,012	647,345	362,333

(注)1 セグメント利益又は損失の調整額 647,345千円は配賦不能営業費用であり、主なものは親会社管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

3 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1) 東南アジア : シンガポール、タイ、マレーシア、ブルネイ等

(2) その他アジア : 中国、台湾

当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額(注)2
	日本	東南アジア	その他アジア	計		
売上高						
外部顧客への売上高	12,098,005	7,484,270	1,792,681	21,374,957		21,374,957
セグメント間の内部 売上高又は振替高	34,920		9,175	44,095	44,095	
計	12,132,925	7,484,270	1,801,856	21,419,052	44,095	21,374,957
セグメント利益又は 損失( )	259,739	42,168	7,022	294,884	736,879	441,994

(注)1 セグメント利益又は損失の調整額 736,879千円には、セグメント間取引消去 27,140千円、配賦不能営業費用 709,738千円が含まれております。配賦不能営業費用は、主に親会社管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

3 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1) 東南アジア : シンガポール、タイ、マレーシア、ブルネイ、ベトナム、ミャンマー

(2) その他アジア : 中国、台湾

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額又は 四半期純損失金額( )	10円84銭	5円56銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額又は 四半期純損失金額( )(千円)	232,177	118,986
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額又は 四半期純損失金額( )(千円)	232,177	118,986
普通株式の期中平均株式数(株)	21,417,783	21,415,241

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年2月13日

株式会社サンテック  
取締役会 御中

東邦監査法人

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 矢 崎 英 城 印

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 小 林 広 治 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社サンテックの平成24年4月1日から平成25年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(平成24年10月1日から平成24年12月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成24年4月1日から平成24年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社サンテック及び連結子会社の平成24年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。